

学校図書館だより



2018年 2月 23日
 横浜市立森の台小学校
 校長 酒井 浩明
 図書主任 清水あゆみ
 学校司書 近江弥穂子

No. 10

今年度も約1ヶ月で終わりとなります。1年間どれだけの本に親しんだでしょうか。少なかったなあ、と思った人は、まだ1ヶ月ありますから、「ラストスパート」で読んでみましょう。今、冬季オリンピックで盛り上がっていますね。日本中が選手の大活躍に湧きました。選手やスポーツに関係のある本を手取るきっかけになってくれたら嬉しいです。

さて、今年度も学校図書館は、常に季節の飾りで彩られ、華やかな空間となっていました。工夫を施した飾り作りに携わってくださった図書ボランティアさんには、感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんも、わくわくしながら学校図書館に足を運んだことでしょうか。多くの方々のおかげで、素敵なお森小の学校図書館が築かれています。残り一ヶ月、そのことを心に留めて利用していきましょう。

がっこうとしょかん 学校図書館からのお知らせ

- 今年度の貸し出しは3月1日（木）までです。
- 本は3月7日（水）までに必ず返しましょう。
- 3月8日（木）、9日（金）は蔵書点検で学校図書館はお休みです。

本をかえす時に、本についているしおりをきちんと中にはさんでかえしましょう。

せんせい 先生のおすすめ本

飯野先生（1-3） 『その時までサヨナラ』 山田悠介 作	谷垣先生（1-5） 『だんごどっこいしょ』 大川悦生 作	菅原先生（11組） 『ハリーポッターシリーズ』 J・K・ローリング作	武井先生（栄養士） 『おじいちゃんが孫に語る戦争』 田原総一郎 作
------------------------------------	------------------------------------	--	---

学校図書館に
あります

学校図書館に
あります

自分にとって大切なものは何かを考えるきっかけになった本です。主人公の気持ちの変化を見て応援したくなり、ラストの切なさには涙でした。

男の子がおいしいだんごを食べ、おばあちゃんに作ってもらうために頑張っておぼえて帰ります。「だんご、だんご、だんご…」しかし、いつのまにか、「どっこいしょ！」にかわって。男の子はおいしいだんごをおばあちゃんにつくってもらうことはできるのでしょうか。

映画よりも本の方が登場人物の性格がよく分かります。ハリーが意外と意地悪だったり、ハーマイオニーがわりと嫌われていたり…あの人があだたり…

どのように戦争が起こってしまったのかが書かれ、今の日本のあり方が幸運の上で成り立っていると思えました。

トピックス ～徳川吉宗（とくがわよしむね）～

徳川吉宗は、徳川御三家の紀州藩第2代藩主・徳川光貞の四男として生まれました。初代将軍・徳川家康はひいおじいさんに当たります。四男なので本来であれば部屋住み（次男以下で家督を相続できない人が分家せずに親の家に留まっている状態）か他家への養子で終わる人生でしたが、兄が早くに亡くなったため、紀州藩主を継ぐこととなります。ここで藩の財政の立て直しに力を入れ、質素倹約を推進して成果をあげました。第7代将軍・徳川家継の死により徳川将軍家の男系男子が途絶えると、第6代将軍家宣の正室・天英院の指名によって御三家出身では初めて徳川宗家を相続し、吉宗が江戸幕府の第8代将軍に就任します。就任後は紀州藩主時代の経験を生かし、幕政改革を行いました。まず、幕府財政の収入が安定するように、定免法（今までの収穫量に比例して年貢を納める方法から、収穫量に関係なく一定の量の年貢を納める方法）や上米の制（諸藩に所領1万石につき100石を幕府に納めることを義務付ける）を実施し、あわせて新田開発を行い、収入の増加を図りました。また、足高の制（優秀な人材をより多く登用する制度、それぞれの役職につける石高が決まっていたが、それよりも低いものを抜擢し、役職在職中のみ禄高を補った）などの官僚制度改革、公事方御定書（過去の判例などに基いた裁判の基準）などの司法制度改革、目安箱を設置して庶民の意見の政治への反映、小石川養生所設置による医療政策、洋書輸入の一部解禁（これは、後に蘭学が盛んになることにつながりました）、なども実施しました。吉宗の政治は歴史上、「享保の改革」として有名であり、これまでは高く評価されてきましたが、実はこれらの中で失敗したと考えられているものも数多くあります。近年では、吉宗の政治を一方向的に高く評価する風潮は見直されようとしています。

今月のおすすめの本

「オオカミ族の少年」

ミシェル・ペーパー著

「白狐魔記 源平の風」

斉藤洋 著

「おおはくちょう

のぞら」

手島圭三郎 著

「山を見つけるんだ。“天地万物の精霊”が宿る山だ。…そこにしか望みはない」…巨大なクマの姿をした悪霊に襲われた父との誓いを守り、“精霊の山”をさがす旅に出たトラク。道連れは、生まれて間もない子オオカミのウルフ。どんな困難も自分達の方だけで立ち向かっていく少年と子オオカミの冒険が今始まる！！

人間はなぜ殺しあうのか…人間の生きざまに興味をもった狐が、縁あって仙人のもとで修業をし、人間に化けられる術を習得する。白狐魔丸と名乗るようになったこの狐は日本の歴史上の大きな事件や英雄たちと出会って…。本書では落ちゆくみなちのよしつねいっこう 源義経一行と遭遇し…

「この子が元気になるまで北の国に帰るのをおくらせよう！」病気で空を飛ぶことができない子どものために北の国への出発を遅らせていた白鳥の家族。しかし、旅立ちの日は近づいてきて…白鳥のお父さんがくださった決断は？！

編集後記

この一か月、図書館の秘密の歌を順番に紹介してきました。一番最初は2年生。そして次に3年生と順に紹介したのですが、みんな一生懸命覚えてくれて、2年生は「あの歌…」と私が言った瞬間に歌い出してくれたり、3年生は図書館の掃除をしながらずっと歌っていたり、さらにお家でも歌ってくれていたみたいで、5年生に紹介にいくと、「妹が家で歌ってた」などという声も聞けてうれしく思っていました。まだ紹介できてないクラスもありますが、今年度中に全賞が歌えるようになってくれるといいなと思います。さて、図書館の秘密の歌をまだ知らない人は気になりますよね。間もなく紹介に荷いますのでしばしお待ちを！

学校司書 近江